

カワセミ通信

発行：彩湖自然学習センター

NO.19
24
発行日：H.23.2.



～できることから環境保全を！～

今年度は、夏の猛暑の影響がいろいろなところに出たようです。アシ原の生育があまりよくなかったこと、カモ類の飛来が例年に比べ少なかったこと、彩湖ではめずらしいハクチョウが飛来したことなどもその影響かもしれません。センター野鳥観察会でお世話になっている講師の先生のお話によると、彩湖で見られる冬鳥の数が、10年前と比べるとだんだん減ってきているとのこと。猛暑の原因の1つは、二酸化炭素排出量の増加による地球温暖化とも言われています。

昨今、環境教育の重要性が取り上げられています。小学校の新しい理科の教科書では、自然環境に関するページが増えました。センターの「こども自然クラブ」でも環境保全に取り組んでいます。私たちの生活が便利になることが自然環境にも影響



こども自然クラブの活動

していることは確かです。彩湖周辺には、多くの自然が残っています。しかし、10年後はどうなっているかわかりません。このところ、彩湖周辺にテレビなどの粗大ゴミを不法投棄している心ない人もいます。ぜひ、ご家庭でも子どもたちと話し合い、できることから環境保全に取り組んでみませんか？(T)

季節の生き物

ユリカモメ(チドリ目カモメ科)

ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯に広く分布し、日本には冬にやってくる渡り鳥です。体長は40cmほどで、体は白っぽく、足とくちばしが赤いカモメです。海岸や港、河口付近で群れを作って生活していますが、他のカモメ類よりも内陸部に入ってきます。主に魚やカニ、エビなどを食べますが、何でも食べる雑食性です。今の時期、彩湖でも湖岸の柵やブイなどの上で休んでいる姿が普通に見られます。夏は頭部が黒褐色に変化します。

この鳥は東京都民の鳥として古くから親しまれており、また、新橋から豊洲まで新交通臨海線の鉄道が走っていますが、『ゆりかもめ』の愛称が使われています。それだけ皆から愛されている鳥なのですね。(I)



お知らせ



今年度のセンターの講座も残すところ2つとなりました。13日の「彩湖周辺の野鳥・晩冬」と19日の「竹細工」です。まだ余裕がありますので、興味がある方は、ぜひご参加下さい。(詳しくは、カワセミ通信1月号または、センターホームページをご覧ください)

ニュース、新聞等で鳥インフルエンザについて報道されています。通常では人に感染することはないと言われており、日常生活においては過度に心配する必要はありません。しかしながら、インフルエンザウイルス以外にも野鳥は様々な細菌や寄生虫を持っている場合がありますので、野鳥に直接触れないようにしてください。



平成23年度講座予定



- 4/23(土) 自然観察会「食べられる野草」
- 5/14(土) 自然観察入門「彩湖の初夏をさがそう」
- 5/22(日) 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥 ～初夏～」
- 7/ 9(土) 自然観察会「夏の夜の生きもの」
- 7/17(日) 生きものを育てよう「スズムシ配布」
- 7/24(日) 自然観察会「昆虫ウオッチング・夏」
- 8/16(火) } こども自然観察教室「魚の壁掛けをつくろう」
- 19(金) }
- 9/11(日) 自然観察会「昆虫ウオッチング・秋」
- 10/ 2(日) 自然観察入門「彩湖の秋をさがそう」
- 10/22(土) 自然写真撮影会「彩湖の自然を撮ろう～風景編～」
- 10/30(日) 親子ふれあい教室「オギのミミズづくり」
- 11/13(日) 自然ものづくり教室「ネイチャークラフト」
- 11/19(土) 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥 ～初冬～」
- 11/26(土) こども自然観察教室「落ち葉の壁掛けをつくろう」
- 12/10(土) 親子ふれあい教室「木の実を使ったリースづくり」
- 12/11(日) 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥 ～真冬～」
- 12/18(日) 親子ふれあい教室「凧づくり」
- 1/ 7(土) 自然観察会「春の七草がゆ」
- 1/14(土) 親子ふれあい教室「秘密の基地づくり」
- 1/15(日) 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥 ～厳冬～」
- 2/12(日) 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥 ～晩冬～」
- 2/18(土) 親子ふれあい教室「竹細工」



予定ですので、内容、日時が変更する場合があります。詳しくは、平成23年度のカワセミ通信、センターホームページ、戸田市ホームページのイベントカレンダー等で順次ご案内させていただきます。